



# 夏に多い子どもの感染症



夏に流行する感染症には、ヘルパンギーナ、手足口病、咽頭結膜熱(プール熱)、流行性角結膜炎(はやり目)などがあります。**特に5歳まで**の子どもがかかることの多い**感染力の強い感染症**です。

## ➡ 感染経路は

患者の咳やくしゃみなどのしぶき(飛沫)を吸い込むことによる**飛沫感染**、鼻水、水疱、便、目やにや涙の中に含まれるウイルスが、直接または、ドアノブや手すり、ティッシュペーパー、タオル、洗面器などを介して口や鼻の中に運ばれることによる**接触感染**、便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染することによる**経口(糞口)感染**などがあります。

疾患によっては症状がなくなったあとも2~4週間以上にわたって便からウイルスが排出されるものが多いといわれています。咽頭結膜熱(プール熱)・流行性角結膜炎(はやり目)は、プールでも感染しますが、近年は塩素濃度の徹底管理等によりプールの水での感染は稀と考えられていて、接触感染によって感染することが多いです。

## ➡ 予防するには

👉流水と石鹸による**こまめな手洗い**を習慣づけましょう。

**手洗いは多くの感染症に共通する重要な予防方法です。**

👉普段からトイレの後、おむつ交換の後、鼻水をとった後などに、しっかり手を洗いましょう。

👉子どもが理解できる範囲で**咳エチケット**\*を心掛けましょう\*咳があるときはマスクをつける。人に向けて咳やくしゃみをしない。咳やくしゃみの時はティッシュなどで口や鼻をおさえるなど。

👉**タオルの共用を避け**ましょう。プール前後はシャワーを浴び、目をしっかり洗い、うがいをしましょう。

★5歳以上のお子さんや大人の人も感染することがあるので注意してね。



	ヘルパンギーナ	手足口病	咽頭結膜熱 (プール熱)	流行性角結膜炎 (はやり目)
主な症状	38~40℃の発熱と同時にのどが痛む。食欲不振、全身倦怠感、頭痛、嘔吐、四肢痛。口の中に1~5mmほどの小さな水疱	38℃以下の発熱、口の中、手のひら、指、足の裏などに2~3mmの水疱性発疹	38℃~39℃の発熱、のどの炎症・痛み、眼の充血・痛み、目やになど、頭痛、腹痛、下痢を伴う	結膜の充血、まぶたの浮腫、目やに、涙、眼痛、耳の前のリンパ節の腫れや痛み。高い熱はなく、のどの赤みも強くない
原因ウイルス	エンテロウイルス(コクサッキーウイルスやエコーウイルスなど)	エンテロウイルス(コクサッキーウイルスA6、A16、エンテロウイルス71など)	アデノウイルス3型、7型など	アデノウイルス8型など
治療	ほとんどの場合、特別な治療は必要がなく対処療法が中心となります。まれに髄膜炎や脳炎、心筋炎を合併することがあります	特別な治療法はありませんので、対処療法が中心となります	特別な治療法はありませんので、対処療法が中心となります	対症療法として、抗炎症剤の点眼を行います。抗菌剤の点眼を行うこともあります
その他	症状が典型的ではない場合もあります。経過観察をしっかりと行い、高熱が出る、発熱が2日以上続く、嘔吐する、頭を痛がる、視線が合わない、呼びかけに答えない、呼吸が速くて息苦しそう、水分が取れずにおしっこがでない、ぐったりとしているなどの症状がみられた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。			